

土曜

SATURDAY

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣

医
の
カ
ル
テ



59



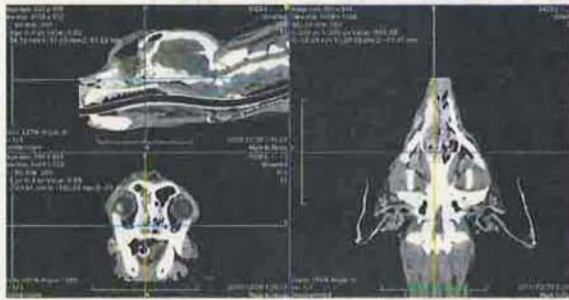
和田 章秀

よつや動物病院長
(高岡市四屋)

先日、わが家で小学校1年生の次男が鼻血を出して、ベッドが血まみれになり、笑い話になっていました。人間の子どもの鼻血でしたら「よくあること」ですが、ペットの鼻血だと笑い話にならないこともよくあります。ワンちゃんも鼻血を出していると、「80%ががん」と言われています。うそのような本当の話です。

犬や猫の鼻出血の原因は、腫瘍が原因のことも多く、鼻腺がん、

鼻血に注意！



犬の左鼻腺がんのCT画像

がんが原因の可能性

扁平上皮がん、線維肉腫、リンパ腫などの悪性腫瘍があり得ます。ま

たは、歯が原因で、歯の根っこが感染して、鼻まで炎症がつかがり出血することや、外傷などで鼻粘膜から出血することもあります。

鼻の中は骨に囲まれ、目視することが難しい場所です。麻酔をかけて内視鏡を入れたり、CTやMRIなどの画像を見たり、細胞を取って病理検査をしたりしないと原因が分からない場合が多いです。

鼻の悪性腫瘍の場合は、もちろん重症で、命に関わります。くしゃみや出血、顔面の変形、脳への浸潤、リンパ節転移などが認められ、鼻腺がんでは治療しなかった

場合の生存中央値は3カ月というデータもあります。

がんの三大治療は手術、放射線、抗がん剤と言われています。鼻の悪性腫瘍では抗がん剤が効く腫瘍は少ないのが現状です。手術は、鼻の骨を開けて、鼻の穴から中をできるだけ切除したり、超音波手術装置で吸引したりするのですが、悪性腫瘍の場合は手術で取りきれず、再発を許してしまいます。そのため手術後、または手術せずに、放射線照射によって、再発や進行を遅らせることが多いです。

ちょっと鼻血と思っても、実は命に関わる重症の可能性もあります。犬猫の鼻血の際には笑い話にせず、動物病医院で相談されるといいかもしれません。